
 東北学院大学情報処理センターシステム 2023 利用者手引書

SPSS ライセンス貸出 利用の手引き (Windows 用)

第 3.00 版/2026.09.08

東北学院大学情報処理センター／学校法人東北学院 法人事務局 情報システム部 情報システム課

1. サービス内容.....	- 1 -
1.1. サービス内容.....	- 1 -
1.2. 免責事項.....	- 2 -
1.3. 制限事項.....	- 2 -
2. PC 端末への導入（利用初回のみ）	- 3 -
2.1. SPSS ダウンロード	- 3 -
2.2. SPSS インストール	- 4 -
2.3. SPSS ライセンス認証	- 6 -
3. SPSS コミュータライセンスライセンスのチェックアウト（借用）・チェックイン（返却）	- 8 -
3.1. SPSS コミュータライセンスのチェックアウト（借用）	- 8 -
3.2. SPSS コミュータライセンスのチェックイン（返却）	- 9 -
3.3. 【参考】ライセンス借用期間の設定変更.....	- 11 -

1. サービス内容

1.1. サービス内容

東北学院大学情報処理センター（以下センター）では、東北学院大学に所属する学生・院生・教職員（非常勤含む）を対象として、センターのソフトウェア利用契約期間に限り、IBM 社の統計解析ソフトウェア「SPSS Statistics」（以下 SPSS）を自宅等のパソコンで利用できるライセンス貸出サービスを提供しています。

SPSS をインストールしたご自身のノートパソコンへ、センターの持つライセンスの一部を一時的に借用すること（コミュータライセンスの利用）により、自宅など学外でも SPSS が利用可能となります。

1.2. 免責事項

- SPSS の利用に伴って生じたあらゆる損害等について一切の責任を負いかねます。特に、SPSS のインストール前の環境への切り戻しを本学にて実施すること、およびその操作をサポートすることは致しかねますので、利用者の責任において事前に復元方法を確立した上でご利用ください。

1.3. 制限事項

利用対象者	・ 東北学院大学に所属する学生・院生・教職員（非常勤含む）
利用場所	・ ライセンスのチェックアウト（借用）は学内ネットワーク (TGWIFI 等) からのアクセス限定。 ・ チェックアウト完了後は学外での利用可。
利用可能ソフトウェア	・ SPSS Statistics Base ※オプション (Advanced Statistics、Regression) は利用不可 （システムの制約上、ライセンスのチェックアウト（借用）時にオプションも選択可能ですが、オプションはライセンス数が限られており、授業利用を優先するため選択しないでください。オプションの貸出を確認した場合は、システム管理者より個別に連絡をさせていただくこととなります。）
利用可能バージョン	Ver. 29（情報処理センター端末と同じバージョン）
利用期間	1 ～ 7 日 ※設定ファイルの変更により、最大 30 日まで延長可。
利用可能数	200 ライセンス (同時貸出数) ※200 ライセンスを超えた場合は返却されるまでチェックアウト（借用）不可。
ソフトウェア利用方法	・ SPSS を起動した後のソフトウェアの利用方法については、各自ドキュメント等を参照してください。情報処理センターでは利用方法のサポートはできません。

2. PC 端末への導入（利用初回のみ）

2.1. SPSS ダウンロード

- 1) SPSS ダウンロード申請フォーム
(URL : <https://www.ipc.tohoku-gakuin.ac.jp/spss/exec.php>) にアクセスします。

- 2) 「ログイン」画面で「ユーザー名」・「パスワード」に[統合認証アカウント]と[統合認証アカウントのパスワード]を入力し、[ログイン]をクリックします。

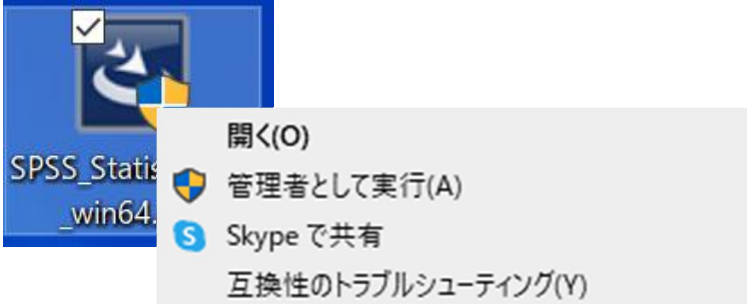
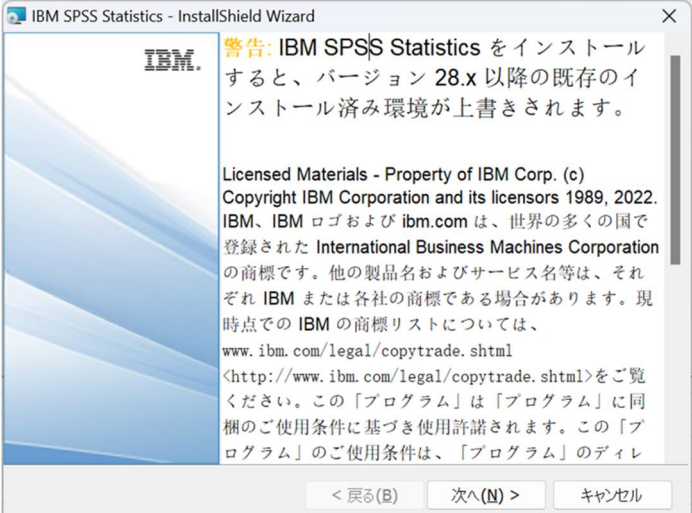
- 3) 「申請」画面で[利用資格]を選択し、[申請者氏名]を入力、画面下の注意事項を確認して、[以下の注意事項に同意する]にチェックを入れて、[申請]をクリックします。

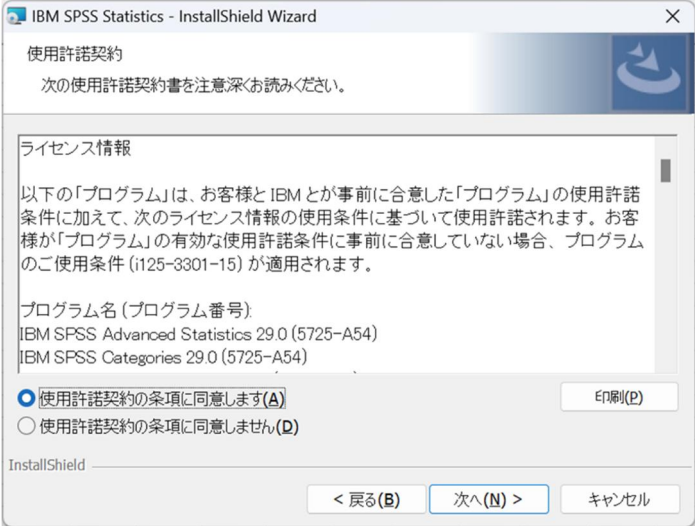
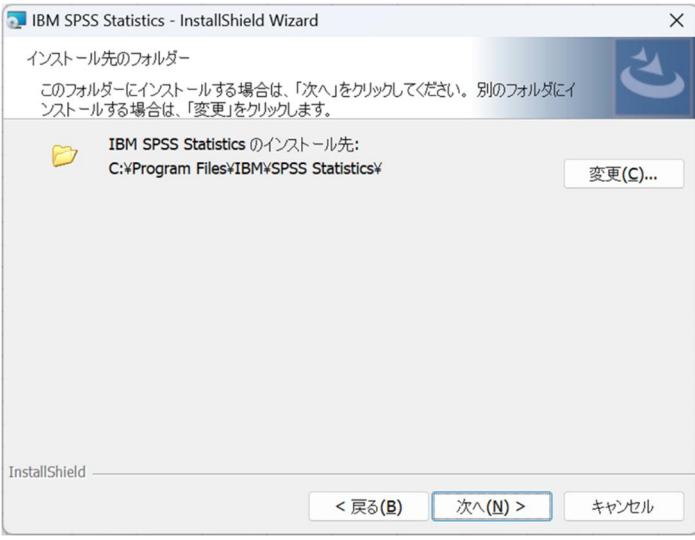
4) 「ダウンロード」画面でインストールしたい OS・バージョンのボタンをクリックして、ダウンロードする。ダウンロード完了後は、[ログアウト]をクリックしてから画面を終了します。	
--	--

2.2. SPSS インストール

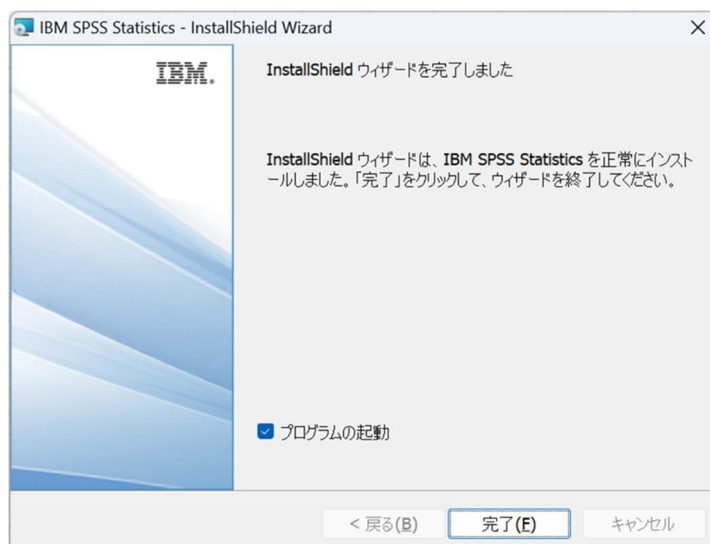
本書では、Ver. 29.0.0 のインストール方法を説明します。

他バージョンでのインストールについても同様の操作となりますので、本書では割愛しますが、適宜読み替えてご活用ください。

1) ダウンロードした「SPSSSC_29.0_MP_ML.exe」を右クリックし[管理者として実行]をクリックします。	
2) [次へ]をクリックします。	

3) 「ソフトウェア・ライセンス情報」で、[使用許諾契約の条項に同意します。]を選択し[次へ]をクリックします。	
4) 「インストール先のフォルダ」で、インストール先のフォルダを指定し[次へ]をクリックします。	
5) 「プログラムをインストールする準備ができました」で、[インストール]をクリックします。	

- 6) 「InstallShield ウィザードを完了しました」で、「プログラムの起動」にチェックが入っていることを確認し、[完了]をクリックします。

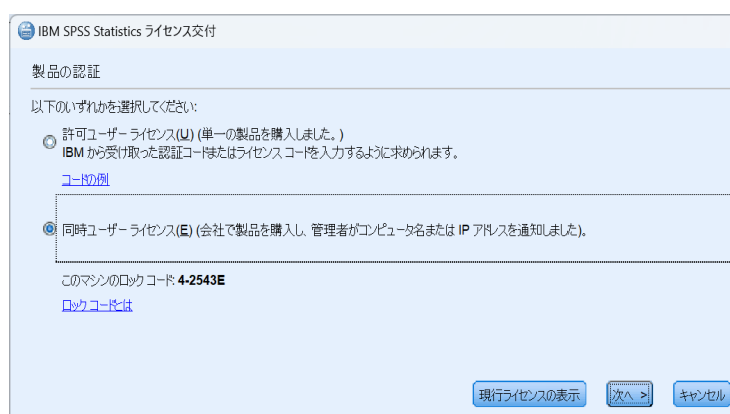


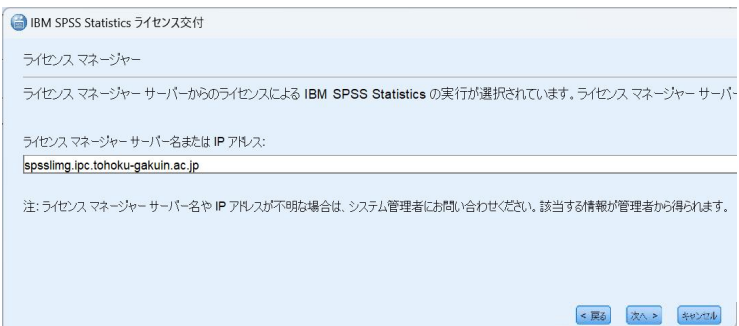
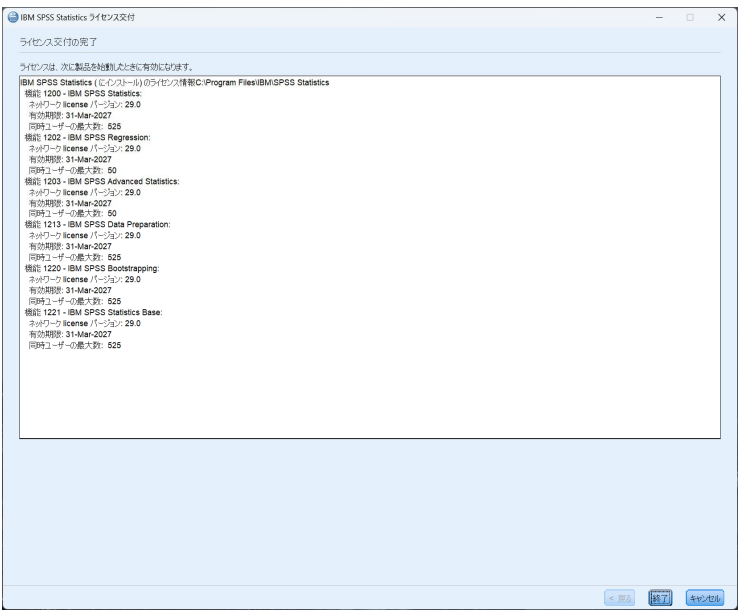
2.3. SPSS ライセンス認証

- 1) 「IBM SPSS Statistics のアクティブ化」で[ライセンスウィザードの起動]をクリックします。



- 2) 「製品の認証」で[同時ユーザーライセンス (E) (会社で製品を購入し、管理者がコンピューター名または IP アドレスを通知しました。)]を選択し、[次へ]をクリックします。



3) 「ライセンスマネージャー」で「ライセンスマネージャー名またはサーバーの IP アドレス:」に spssling.ipc.tohoku-gakuin.ac.jp を入力し、[次へ]をクリックします。	 IBM SPSS Statistics ライセンス交付 ライセンス マネージャー ライセンス マネージャー サーバーからのライセンスによる IBM SPSS Statistics の実行が選択されています。ライセンス マネージャー サーバー ライセンス マネージャー サーバー名または IP アドレス: spssling.ipc.tohoku-gakuin.ac.jp 注: ライセンス マネージャー サーバー名や IP アドレスが不明な場合は、システム管理者にお問い合わせください。該当する情報が管理者から得られます。 < 戻る 次へ > キャンセル
4) 「ライセンス交付の完了」で[終了]をクリックします。	 IBM SPSS Statistics ライセンス交付 ライセンス交付の完了 ライセンスは、次に製品を起動したときに有効になります。 IBM SPSS Statistics (32 ビット) のライセンス情報(C:\Program Files\IBM\SPSS Statistics 機能 1200 - IBM SPSS Statistics ネットワーク license パッケージ: 29.0 有効期限: 31-Mar-2027 同時ユーザーの最大数: 525 機能 1202 - IBM SPSS Regression ネットワーク license パッケージ: 29.0 有効期限: 31-Mar-2027 同時ユーザーの最大数: 50 機能 1203 - IBM SPSS Advanced Statistics ネットワーク license パッケージ: 29.0 有効期限: 31-Mar-2027 同時ユーザーの最大数: 50 機能 1213 - IBM SPSS Data Preparation ネットワーク license パッケージ: 29.0 有効期限: 31-Mar-2027 同時ユーザーの最大数: 525 機能 1220 - IBM SPSS Bootstrapping ネットワーク license パッケージ: 29.0 有効期限: 31-Mar-2027 同時ユーザーの最大数: 525 機能 1221 - IBM SPSS Statistics Base ネットワーク license パッケージ: 29.0 有効期限: 31-Mar-2027 同時ユーザーの最大数: 525 < 戻る 終了 キャンセル
5) アプリケーションの再起動が求められますので、[再起動]をクリックします。	 IBM SPSS Statistics の再起動 新規ライセンスは、次回 IBM SPSS Statistics を再起動したときに有効になります。今すぐアプリケーションを再起動しますか？ 後にする 再起動

3. SPSS コミュータライセンスのチェックアウト（借用）・チェックイン（返却）

3.1. SPSS コミュータライセンスのチェックアウト（借用）

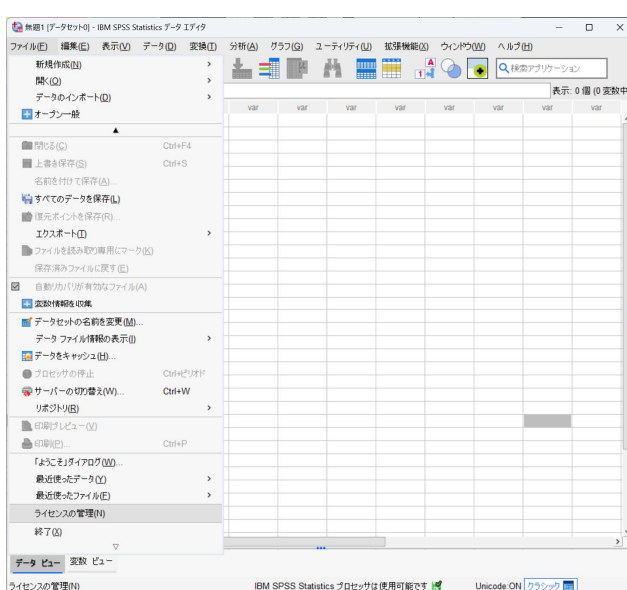
ライセンスをチェックアウト（借用）することでネットワークに接続できない場所でも SPSS が使えるようになります。

コミュータライセンス（一時的な貸出用のライセンス）は 200 ライセンスまでの提供となるため、上限に達している場合はチェックアウトができないことがあります。その場合はエラーが表示されますので、返却されるまでお待ちいただくか、各キャンパスの情報処理センターのパソコンをご利用ください。

本書では、Ver. 29.0.0 のチェックアウト方法を説明します。

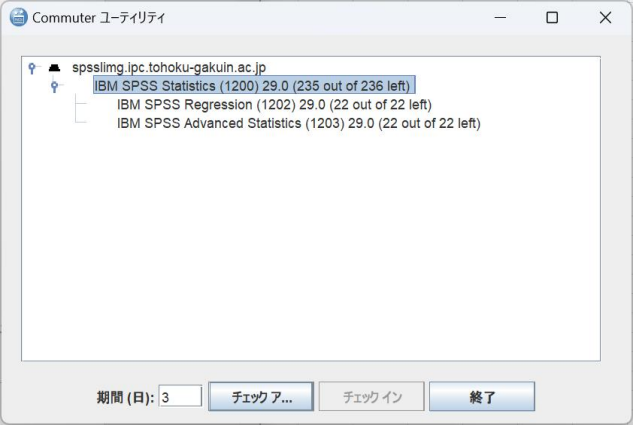
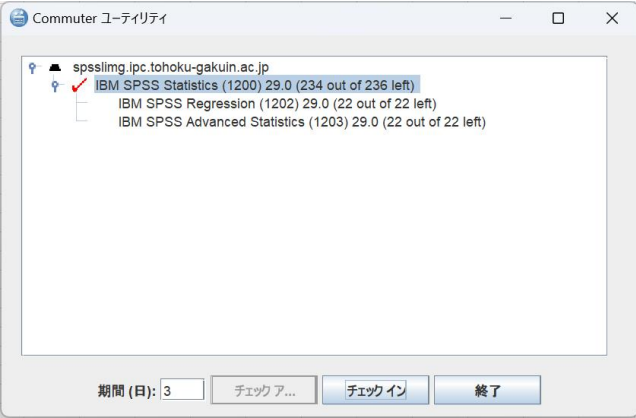
他バージョンでのチェックアウト方法についても同様の操作となりますので、本書では割愛しますが、適宜読み替えてご活用ください。

- 1) SPSS を起動し、ウインドウ左上の「ファイル」から「ライセンスの管理」をクリックします。



- 2) 「ライセンスの管理」で[Commuter ユーティリティツールの起動]をクリックします。



3) 「Commuter ユーティリティ」で[IBM SPSS Statistics(1200)29.0(235 out of 236 left)]を選択し、[期間(日)]を入力(1日～7日の間で指定)し、[チェックアウト]をクリックします。 ※ <u>オプション(Advanced Statistics、Regression)のチェックアウトは禁止です。ご注意ください。</u> ※ 多くの方に利用いただけるよう、借用期間は必要最低限としてください。	
4) 「Commuter ユーティリティ」で[IBM SPSS Statistics(1200)29.0(236 out of 236 left)]にレ点チェックが入っており、[チェックアウト]がクリックできなくなっていることを確認します。 ※ <u>オプション(Advanced Statistics、Regression)にレ点チェックが入っていないことを確認してください。</u>	

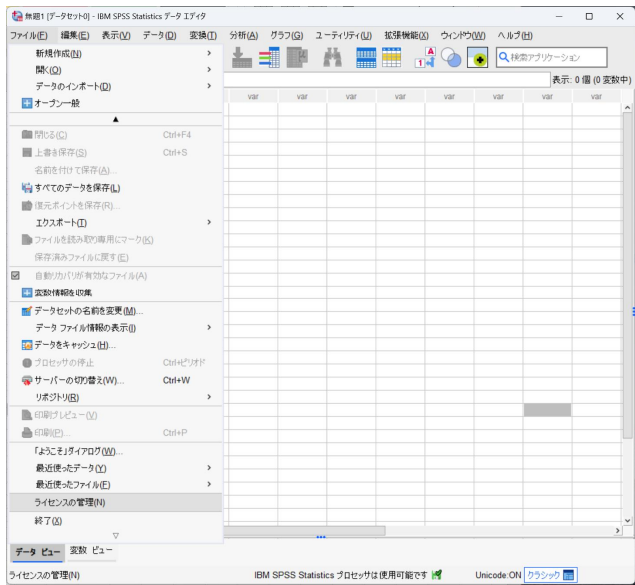
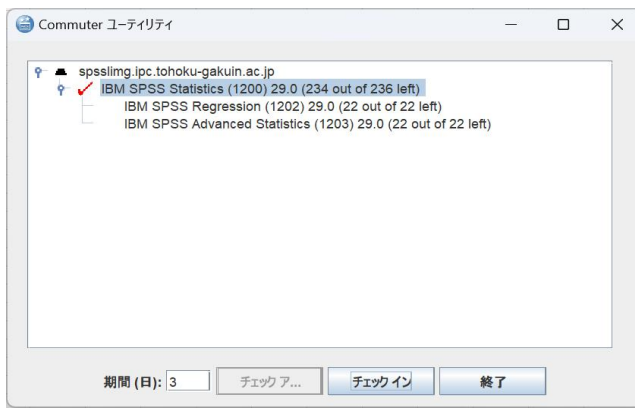
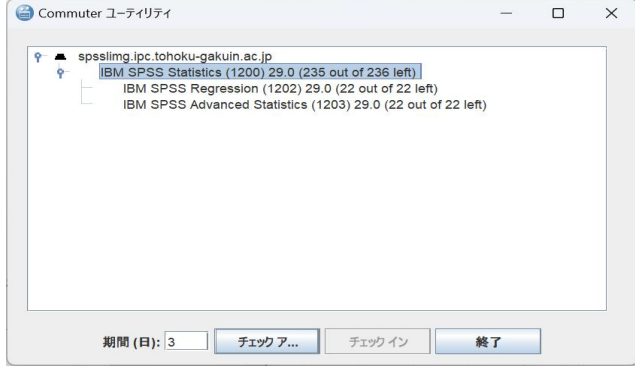
3.2. SPSS コミュータライセンスのチェックイン（返却）

学外での利用が終わった後は、速やかにコンピュータライセンス（一時的な貸出用のライセンス）のチェックイン（返却）処理を実施してください。以下の作業は学内ネットワーク（TGWIFI 等）に接続した状態で行ってください。

※ 借用期間が終了した場合は、チェックインを行わなくてもライセンスは返却されます。

本書では、Ver. 29.0.0 のチェックイン方法を説明します。

他バージョンでのチェックイン方法についても同様の操作となりますので、本書では割愛しますが、適宜読み替えてご活用ください。

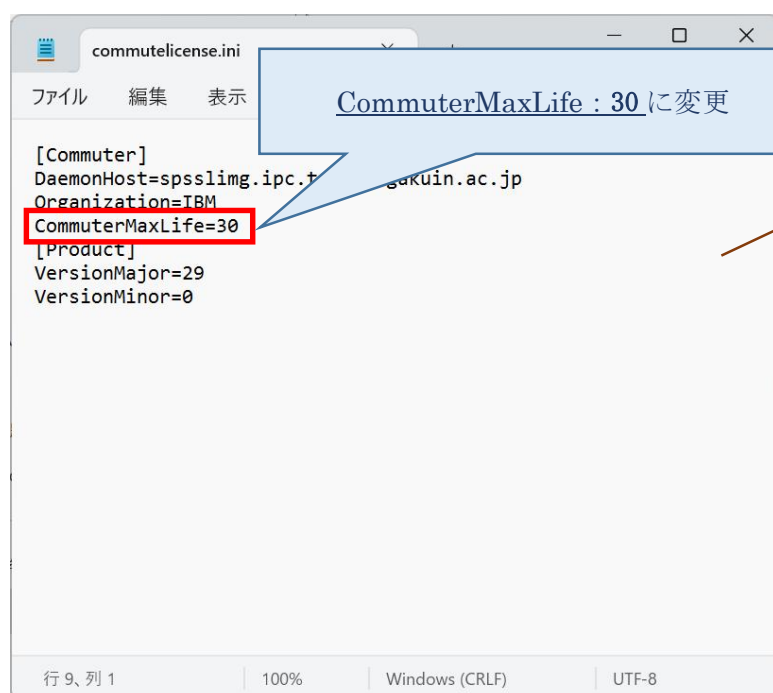
1) SPSS を起動し、ウインドウ左上の「ファイル」から「ライセンスの管理」をクリックします。	
2) 「ライセンスの管理」で[Commuter ユーティリティツールの起動]をクリックします。	
3) 「Commuter ユーティリティ」でレ点チェックが入っている項目を選択し、[チェックイン]をクリックします。	
4) 「Commuter ユーティリティ」でレ点チェックが外れており、[チェックアウト]がクリックできる状態になっていることを確認します。	

3.3. 【参考】ライセンス借用期間の設定変更

コンピュータライセンス（一時的な貸出用のライセンス）の借用期間はチェックアウト画面では最大 7 日間に制限されていますが、以下の方法でパソコンの設定を変更することで最大 30 日のチェックアウトが可能となります。

- ※ 本手順で設定変更した後で、手順 3.1 の通りチェックアウトを行ってください。その際は[期間(日)]を希望する日数（最大 30 日まで）に指定してチェックアウトを実行してください。
- ※ 多くの方に利用いただけるよう、借用期間は必要最低限としてください。

1. インストールディレクトリにある「commutelicense.ini」ファイルを開きます。
例) [ローカルディスク(C:)] -> [Program Files] -> [IBM] -> [SPSS Statistics]
2. [CommuterMaxLife]の値を「7」から「30」に書き換えます。
3. ファイルを保存してから閉じます。



<補足>

ファイルが保存できない場合は、ファイルを右クリックし、「プロパティ」にある「セキュリティ」タブを確認してください。

SPSS を利用するパソコンにログインしているユーザ名での書き込み権限がないために拒否されています。書き込み権限があるユーザでログインし直るか、そのユーザの書き込み権限を付与してください。